

## 介護給付適正化に向けた支援事業について【東京都・東京都国保連】

### ● 概要

「特定分野における技術的助言」（ケアプラン分析システム、縦覧点検・医療情報との突合等についての個別支援）として、東京都・東京都国保連協会と共同で、介護給付適正化に係る保険者個別支援を実施することで、介護サービスの適正な提供・給付の適正化を支援している。

### ● 実施状況

#### <事前調査>

調査書により、希望の有無、希望人数、希望日、確認事項、希望しない場合の理由、今後希望する支援策、今後の課題を確認

#### 確認項目

- ①ケアプラン分析システム、一次加工情報 ②医療情報との突合審査について
- ③縦覧点検について ④その他

#### <実施方法>

##### (1) 個別支援

- ・各テーブルにモニターを設置
- ・1保険者に対し職員1～2名で対応
- ・調査書の「確認したい内容」を基に、該当の帳票等をモニターに投影し仕様等を説明
- ・保険者からの質問に回答

##### (2) 情報交換会

テーマを決めず、保険者間で自由に対話

#### <実施実績> 個別支援実施保険者数（62保険者中）

年度	参加保険者数	参加人数（人）
令和5年度	31	62
令和6年度	31	69
令和7年度	21	37

### ● 効果（アンケート結果より）

- 縦覧点検で作成されている4帳票+6帳票のそれぞれの意味や活用方法について改めて学ぶ機会となり、参加させていただいてよかったですと感じました。また、ケアプラン分析システムについて、今まで運営指導対象の事業所の情報を知るための基本的な活用しかしていなかったように思いますが、もう少し色々と操作してみて、せつかくの情報をより活用できるような工夫ができればと思います。
- 適正化係のお二方が親身に話を聞いてくださったので、適正化事務へ取り組む意欲が強まった。他の自治体との情報交換会では、規模感や、系の構成など異なる背景がありつつも、適正化へ向けて尽力していることがわかり、心強い思いを感じた。

# 東京都における介護給付適正化に 向けた支援事業について

東京都福祉局高齢者施策推進部介護保険課

## 第6期東京都介護給付適正化計画について

### 1 概要・目標

< 第9期東京都高齢者保健福祉計画（令和6年度～令和8年度）における記載内容抜粋 >

#### 【概要】

第8章 保険者機能強化と地域包括ケアシステムのマネジメント

第2節 地域包括ケアシステムのマネジメント 機能強化に向けた保険者支援

- 地域包括ケアシステムの深化・推進のため、区市町村が地域ごとに適切な地域包括ケアシステムのマネジメントを行えるよう支援します。

#### 【施策の方向】

■ 区市町村が地域ごとに適切なマネジメントが行えるよう支援します

- 地域包括ケアシステムの各要素・分野ごとの支援を行うとともに、区市町村がそれぞれの地域の資源や課題を把握し、地域の実情に応じたマネジメントを実施できるよう、支援の在り方について検討していきます。
- 介護保険法第5条第2項に基づき区市町村に対し必要な助言等を行うとともに、地域包括ケア「見える化」システムを活用した地域分析の方法等について支援します。
- 専門家を招いた全体研修及び情報交換会を開催し、実践的なテーマや取組事例の紹介等による知識や技術の習得、自治体間の情報共有を推進します。また、PDCAサイクルに沿った自立支援・重度化防止等の取組が推進できるよう、その前提となる考え方や対応策、効果的な事業展開やデータ活用の方など、保険者機能の強化につながるカリキュラムを実施します。
- 区市町村が介護保険事業計画に記載した「自立支援、介護予防又は重度化防止及び介護給付の適正化に関する取組と目標」の指標や取組について、他の自治体の状況も参考にできるよう全区市町村の状況を共有します。
- 保険者機能強化推進交付金等の評価指標を活用して、区市町村の取組状況を把握し、取組事例の共有等を行うとともに、必要な支援につなげます。
- 区市町村が現在の地域包括ケアシステムの構築状況を振り返り、地域の実情や特徴に応じた取組を自律的に検討・実行できるよう、国から提供された支援ツールの活用を支援します。

## 東京都における保険者支援について

### 2 支援内容及び実績

支援項目		支援内容等	< R6 年度実績 >
研修の実施	①保険者機能強化研修	<p><b>目的：</b>区市町村が自立支援・介護予防・重度化防止等の取組推進に必要な知識や考え方について理解を深める</p> <p><b>対象：</b>地域支援事業担当、計画策定担当、介護保険担当、地域包括支援センター職員等</p>	<p><b>実施時期：</b>R7.3.4</p> <p><b>実施内容：</b>講義（オンライン）</p> <p>①持続可能な介護保険制度の運営と地域づくりの推進（東京都）</p> <p>②R7インセンティブ交付金評価指標の該当状況結果について（東京都）</p> <p>③2040年を見据えた今から備える第10期介護保険事業計画の検討（日本総合研究所）</p> <p>④ロジックモデルを徹底活用した計画策定と施策展開（八王子市）</p> <p>⑤つながり、ひろがる、地域の支えあい（調布市社会福祉協議会）</p> <p><b>参加者：52保険者（203名）</b></p>
	②地域包括ケア「見える化」システム研修	<p>（基礎編）</p> <p><b>目的：</b>地域包括ケア「見える化」システムの基礎的な操作方法の習得</p> <p><b>対象：</b>システム操作に携わる初任者</p>	<p><b>実施内容：</b>講義（録画配信）</p> <p>①見える化システムの概要と活用方法</p> <p>②地域分析に関する操作、演習</p> <p><b>参加者：136名</b></p>
		<p>（応用編）</p> <p><b>目的：</b>地域包括ケア「見える化」システムを活用した地域分析等の習得</p> <p><b>対象：</b>計画策定・介護保険担当者等</p>	<p><b>実施内容：</b>講義（録画配信）</p> <p>①地域分析・計画の進捗管理とシステム活用</p> <p>②R6インセンティブ交付金評価指標からみる進捗管理や地域分析等の状況について</p> <p><b>参加者：127名</b></p>
③介護給付適正化推進研修	<p><b>目的：</b>都及び区市町村が一体となって介護給付の適正化を推進するため、区市町村における効果的な実施を支援し、介護給付適正化をより一層推進する</p> <p><b>対象：</b>介護給付適正化担当（認定除く）</p>	<p><b>実施内容：</b>講義（録画配信）</p> <p>①給付適正化主要事業の再編及び推進</p> <p>②東京都における介護給付費の状況</p> <p>③第8期介護保険事業計画介護給付適正化の実施目標等に係るアンケート調査結果</p> <p>④適正化の好事例紹介</p> <p><b>参加者：37保険者（62名）</b></p>	

## 東京都における保険者支援について

支援項目		支援内容等	< R6 年度実績 >
技術的 助言	④一般的な技術的助言	<p><b>目的：</b>高齢者の自立支援、重度化防止に関する取組状況を勘案し、助言を実施</p> <p><b>対象：</b>助言を希望する保険者</p>	<p><b>実施時期：</b>R6.7.19～R6.11.26</p> <p><b>実施内容：</b>オンラインで実施</p> <p>①保険者機能強化推進交付金の取組状況に関して、各担当から助言する</p> <p>②制度改正への取組について確認</p> <p>③セルフチェックシートの自己点検確認（全保険者）</p> <p><b>参加者：</b>2保険者</p>
	⑤特定分野における技術的助言	<p><b>目的：</b>特定の分野（介護給付適正化事業）について、定期的に助言を実施</p> <p><b>対象：</b>助言を希望する保険者 ※認定分野については別途実施</p>	<p><b>実施時期：</b>R6.7.29～R6.9.19</p> <p><b>実施内容：</b>ケアプラン分析、縦覧点検・医療情報との突合等についての個別支援</p> <p><b>参加者：</b>31保険者</p>
その他	⑥法定報告	<p><b>目的：</b>介護保険事業計画に記載した自立支援・重度化防止に関する「取組と目標」について、区市町村の自己評価結果を取りまとめるとともに、分析結果を提供する</p> <p><b>対象：</b>全保険者</p>	<p><b>実施時期：</b>R6.6.21</p> <p><b>実施内容：</b>介護保険事業計画に記載した自立支援・重度化防止に関する「取組と目標」について、以下の資料を情報提供</p> <p>①全保険者の具体的な取組内容や自己評価を記載した結果一覧</p> <p>②当該年度の各事業における評価の傾向等の分析資料</p>
	⑦都と保険者の協議の場	<p><b>目的：</b>都の保険者支援について、保険者等と意見交換、検討を行い、今後の支援につなげる</p>	<p><b>実施時期：</b>R6.7.29（書面開催）</p> <p><b>実施内容：</b>幹事会（事業計画・給付分野） 第9期計画における保険者支援の記載について</p> <p><b>参加者：</b>11保険者 ※認定分野は別途実施</p>

# 保険者個別支援について

---

東京都国民健康保険団体連合会  
介護福祉部 介護保険課



# 保険者個別支援について

---

## 目次

---

- 1 保険者個別支援に係る調査書について . . . . . 2
- 2 保険者個別支援方法 . . . . . 5
- 3 個別支援実績 . . . . . 6
- 4 個別支援後のアンケート . . . . . 7

# 1. 保険者個別支援に係る調査書について

## 調査書内容

### 令和7年度 保険者個別支援に係る調査書

◆各設問に対し、該当するものを選択、必要な記載事項をご記入願います。

(1) 今年度の適正化に関する個別支援を希望されますか。

\*「希望しない」を選択した場合は、設問(2)へお進みください。

「希望する」を選択した場合、次の質問にご回答ください。

1: 参加希望人数

2: 参加希望日 (個別支援は1回ですが、振り分けのため複数回答にご協力ください。)

①	令7年8月7日(木)	14時00分～16時30分	
②	令7年8月20日(水)	14時00分～16時30分	
③	令7年8月21日(木)	14時00分～16時30分	
④	令7年8月27日(水)	14時00分～16時30分	
⑤	令7年8月29日(金)	14時00分～16時30分	
⑥	令7年9月10日(水)	14時00分～16時30分	
⑦	令7年9月30日(火)	14時00分～16時30分	
⑧	令7年10月8日(水)	14時00分～16時30分	

3: 個別支援で確認したい内容等について、下記①～④のいずれかを選択してください。

① ケアプラン分析システム、一次加工情報	
*内容等をご記入ください。	
② 医療情報との実合審査について	
*内容等をご記入ください。	
③ 縦覧点検について	
*内容等をご記入ください。	
④ その他	
*内容等をご記入ください。	

(2) 設問(1)で「希望しない」と回答した理由を、ご回答ください。

① 日程(実施時期)の問題	
② 体制的に難しいため	
③ 適正化の取組ができていないため	
④ 過去に参加したため	
⑤ その他	

◆以下の設問は、個別支援とは関係ありません。状況確認のため、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

(3) 保険者で行うケアプラン点検に対し、本会で検討してほしい支援等を参考にお聞かせください。

--

(4) 介護給付適正化を推進していく中での課題等がありましたらご記入ください。

--

本会の個別支援対応箇所

☆ご協力ありがとうございました。

# 1. 保険者個別支援に係る調査書について

## 調査書結果（確認したい内容）

### ① ケアプラン分析システム、一次加工情報

- 国保連から多くの帳票やデータの提供があるが、いずれも量が膨大であり、帳票の扱いが難しい。各種帳票やデータの実務的な活用方法教えてほしい。
- 「ケアプラン分析システムの確認方法」や、「一次加工情報」等の活用方法を教えてほしい。
- 一次加工情報の「認定調査状況と利用サービス不一致一覧表」の効果的な確認方法について教えてほしい。

### ② 医療情報との突合審査について

- 基礎的な内容について、提供される帳票に対し具体的な処理方法を教えてほしい。
- 効率的かつ効果的な帳票の利用方法と重要ポイントを確認したい。
- 担当者が変更になったため、基本や効果的な活用方法を確認したい。

# 1. 保険者個別支援に係る調査書について

## 調査書結果（確認したい内容）

### ③ 縦覧点検について

- 「重複縦覧」の医療機関等への確認方法があれば教えていただきたい。また、その他6帳票の優先順位があれば教えていただきたい。
- 「入退所を繰り返す受給者縦覧一覧表」を審査しているが、審査にかかる時間に対して、過誤・再請求につながる件数が少ないと感じている。その他の6帳票のうち、過誤・再請求につながりやすいと考えられる帳票を伺いたい。  
また、他自治体のその他の6帳票の確認状況を伺いたい。
- 確認するポイントを教えてもらいたい。

### ④ その他

- 福祉用具貸与について、一次加工情報の「認定調査状況と利用サービス不一致一覧表」と縦覧点検の「軽度の要介護者にかかる福祉用具貸与品目一覧表」の詳しい見方と活用方法の違いが知りたい。  
確認書等の提出がなかった場合の対応方法の例について知りたい。

## 2. 保険者個別支援方法

### 支援方法及びタイムスケジュール

令和7年度介護給付適正化に係る保険者個別支援

#### 本日のスケジュール

時間	内容
13:45	入室開始
14:00	挨拶（東京都国民健康保険団体連合会）
14:05	個別支援
15:20	休憩
15:30	情報交換会
15:55	東京都からの総評

#### 個別支援方法

- ・各テーブルにモニターを設置
- ・1保険者に対し職員1～2名で対応
- ・調査表の「確認したい内容」を基に、該当の一覧表をモニターに投影し仕様等を説明
- ・保険者からの質問に回答

#### 情報交換会

テーマを決めず、保険者間で自由に対話  
(適正化に限らず、今現在苦慮している業務について  
他の自治体の状況等を話し合っていることが多い)

### 3. 個別支援実績

個別支援実施保険者数（62保険者中）

令和5年度 31保険者 62名

令和6年度 31保険者 69名

令和7年度 21保険者 37名

# 4. 個別支援後のアンケート

## アンケート内容

### 令和7年度 介護給付適正化に関する保険者個別支援のアンケート

以下の設問にご回答ください。

(1) 調査票で回答した質問（疑義）は解決したか （プルダウンから選択）

(2) (1) で「3 解決しなかった」を選択された場合、理由をご記入ください。

(3) 調査票の回答以外で質問した種類・内容等を記載願います。

種類	
質問した内容等	

(4) 全体を通して、ご意見・ご感想等をご記入願います。

☆アンケートのご協力ありがとうございました。

アンケートは、Eメールにて国保連合会 介護保険課 介護給付適正化係まで送信願います。

なお、アンケート結果は東京都へ展開いたします。

## 4. 個別支援後のアンケート

### アンケート結果 全体を通して、ご意見・ご感想等（一部抜粋）

- ▶ 今年度より介護保険部署に配属となったため、介護給付適正化に関する事務につきましても以前研修を受けた程度で、実際にシステムを触ったこともない中での参加となり、大変申し訳なかったのですが、基本的な操作やケアプラン点検の際チェックしたら良い部分など丁寧に説明くださり、大変勉強になりました。  
また、情報交換についても、組織の体制やどのように事務引継ぎをなされているのかなど、普段なかなか他自治体の方々と情報共有する機会がないので、大変参考になりました。今回得た内容を今後の事務に大いに生かしていきたいと思っております。
- ▶ 縦覧点検で作成されている4帳票+6帳票のそれぞれの意味や活用方法について改めて学ぶ機会となり、参加させていただいてよかったと感じました。  
また、ケアプラン分析システムについて、今まで運営指導対象の事業所の情報を知るための基本的な活用しかしていなかったように思いますが、もう少し色々と操作してみて、せつかくの情報をより活用できるような工夫ができればと思います。
- ▶ 適正化係のお二方が親身に話を聞いてくださったので、適正化事務へ取り組む意欲が強まった。他の自治体との情報交換会では、規模間や、系の構成など異なる背景がありつつも、適正化へ向けて尽力していることがわかり、心強い思いを感じた。
- ▶ 配属1年目でなにもわからない状態で参加したが、認定調査状況と利用サービス不一致一覧表の見方、適正化について理解することができた。他自治体との意見交流会では、他自治体の現況も知ることができ有意義な時間となった。
- ▶ 個別に質問に答えていただけなので、些末なことでも質問しやすく、日頃の疑問が解消して、とても良かった。
- ▶ 当市では、給付適正化に関する業務をしている職員が複数名いるため、正直どの帳票を活用できているかどうかの現状を職員同士で把握できていない。係内でこの研修で学んだことを共有し、給付適正化の業務を見直すきっかけにできたらと思う。
- ▶ 今回の個別支援会を通して、国保連や東京都はもちろん、他自治体の担当とお話することで、自分のやっていた業務のおおまかな温度感のようなものを感じられて非常に勉強になりました。今後も引き続き関係機関と情報共有等しながら介護給付費適正化に向けた事務遂行を進めてまいります。